

委員からあがった今後の検討課題

- ・ 設立した場合、原村におけるデメリット。
 - ・ 組織構成、規模、収支等。
 - ・ 現状の課題に対する想定できる施策。
 - ・ 設立したうえで想定できる事業。メインに出来るること。
 - ・ 他地域の事例の中で原村で参考として適用できそうな物。
- ・ 長期的視点で考えることを前提とするのであれば、スケジュールを別途策定し、委員会として結論を出すべき項目とその期限を明確化すべき。
議論すべき項目が明確になっておらず、アジェンダが広すぎる。
DMO がどのように進めていくべきなのかは DMO で議論すべき事項であり、DMO を設立すべきかどうかを議論すべき。
どのような DMO にするかは設立決定後の方向性を決定する議論の場において実施すると明確化し、まずは、観光連盟、商工観光課と2つの観光推進体制がある中で、現行体制で行くのか それとも DMO という枠組みを活用して現行体制を見直すのかの2極論での比較が良いかと思う。
可能であれば観光事業者に対してアンケートによる調査を実施し、現行の観光連盟の活動についての評価及び問題点、観光商工課の役割と観光連盟の役割についてをまとめたものを配布した上で、その役割についての評価と意見そして DMO の説明と DMO に対する意見この3点を集めてから議論すべきかと思う
- ・ 個人的に現段階では、原村にも DMO が必要だと思う。
なぜなら、茅野 DMO さんが申請し、採択された観光庁の補助金事業の事務局をやらせてもらった。自分自身のスキルアップにはなったが、成果物は、茅野市のものになります。どうせなら、自分の住む村でやりたいと、ずっと思っている。他にも数名の原村村民も、茅野や、諏訪の観光事業に人材として引っ張られております。地域を良くしたいと思っている村民が、外で活動している状況だと思えます。
議題として検討したい事は、リスクがあるとしたらどの様な、リスクがあるのか、また、そのリスクの責任はどこが持つのか、
また、そもそも議題に上げたリスクは、話し合っただうにかなるものなのか、今の段階で話合うとしたら、ゴールは何処に設定するのか、
- ・ 村、商工観光課の関わり方
 - ・ DMO のメインとなるもの
 - ・ 事業者の関わり方